

§ 2013 年度秋季大会報告

1. 2013 年度秋季大会は 9 月 7 日 (土) ~9 月 8 日 (日) に新潟大学五十嵐キャンパスにおいて盛会裏に行われた。7 日には、公開シンポジウム「今、養鶏業界で何が問題となっているか? -産官学の各視点から-」(参加者 90 名) と家禽資源保有機関の事業内容説明会(参加者 60 名) が開催された。また編集委員会、技術賞選考委員会、産学交流促進委員会、将来構想委員会、国際交流委員会、理事会が開催された。8 日には 40 題の一般講演、評議員会、常務理事会、総会とともに、名誉会員推戴(唐澤豊会員) の発表と功労賞、学会賞、奨励賞、優秀論文賞および優秀発表賞の授与式が行われた。学会賞および奨励賞については、授与式後受賞者講演が行われた(参加者 120 名)。

2. 理事会・評議員会および総会で報告、決定された主な事項は以下のとおりである。

(1) 大会関係

○2013 年度春季大会 平成 25 年 3 月 29 日 (金)

安田女子大学

大会委員長 吉村 幸則教授、一般講演 54 題、総会、優秀発表賞授与式、ランチョンセミナー

(一般講演 150 名、ランチョンセミナー 60 名参加)

○2013 年度秋季大会 平成 25 年 9 月 7 日(土)~8 日(日)

新潟大学五十嵐キャンパス

大会委員長 高田 良三教授、一般講演 40 題、公開シンポジウム、家禽資源保有機関の事業内容説明会、総会、名誉会員推戴・功労賞・学会賞・奨励賞・優秀論文賞・優秀発表賞授与式

○2014 年度春季大会は平成 26 年 3 月 29 日 (土) につくば市で、2014 年度秋季大会は鹿児島県で開催される予定である。

(2) 賞関係

○平成 25 年度日本家禽学会功労賞は、林國興会員、山内高圓会員、米持千里会員に授与された。

○平成 25 年度日本家禽学会賞は、大久保武会員(茨城大学)、対象業績「ニワトリレプチン受容体を通じた生理作用発現の分子機構に関する研究」、奨励賞は、力丸宗弘会員(秋田県畜産試験場)、対象業績「比内地鶏の遺伝的特性の利用および比内地鶏の雄雛の有効活用に関する研究」に授与された。

○平成 25 年度日本家禽学会技術賞への推薦があり、現

在、選考委員会において審査中である。

○The Journal of Poultry Science 優秀論文賞(2012 年) は、編集委員会の選考および理事会の審議・承認を経て、以下の 2 編に決定された。

1. Detection of Leptin Activity in Living Cells Expressing Chicken Leptin Receptor and STAT3.

Hiromi Adachi, Daisuke Murase, Susumu Atomura, Takeshi Ohkubo

第 49 巻 1 号 : 46-50 ページ

2. Physiological and Behavioral Responses of Young Chicks to High Ambient Temperature.

Vishwajit S. Chowdhury, Shozo Tomonaga,

Shotaro Nishimura, Shoji Tabata, Mitsuhiro Furuse

第 49 巻 3 号 : 212-218 ページ

(3) 日本農学会関係

○内藤充会員 ((独)農業生物資源研究所) を平成 26 年度日本農学賞受賞候補者に選考した。

○日本農学大会は、4 月 5 日 (金) 東京大学山上会館において開催された。また、日本農学会シンポジウムは 10 月 5 日 (土) に東京大学弥生講堂において「農学イノベーション-新しいビジネスモデルと食・農・環境における技術革新-」というテーマで開催される。

(4) 日本学術会議関係

○2014 年 3 月 26 日に開催予定の畜産学会学術シンポジウム「食肉をつくる細胞とその制御機構- 筋肥大と脂肪蓄積のメカニズム解明に向けた新展開-」に、日本学術会議畜産分科会とともに日本家禽学会が共催することを要請され、理事・監事によるメール会議により、共催可とした。

(5) 産学交流促進委員会関係

○平成 25 年 9 月 7 日 (土) に公開シンポジウム「今、養鶏業界で何が問題となっているか? -産官学の各視点から-」を開催した。

(6) 日本家禽学会将来構想委員会関係

○会員拡大策について、①シニア会員と、②外国人特別会員の制度を新設するという答申があり、理事会、評議員会、総会で承認された。2014 年春季大会でこの会員制度の新設に伴う規約改正を諮る。

(7) 国際交流委員会関係

○第24回WPCブラジル大会に参加した若手会員渡航費の一部補助を行う(論文投稿受付後、3名)。

○第10回アジア太平洋家禽学会(APPC)は2014年10月19-23日に韓国済州島で開催し、若手会員の渡航費の一部補助を行う。

○第25回世界家禽会議(2016)は北京で開催予定である。

○第26回世界家禽会議(2020)はパリで開催予定である。

○韓国済州島へは多くの会員の参加を希望する。

(8) 若手研究会関係

○平成25年度春季大会でランチョンセミナーを開催した(題目:「KFCのアニマルウェルフェアへの取り組み」、出席者約60名)。

○平成26年度春季大会(つくば市)では、ランチョンセミナーを開催する予定である。

(9) 会員の移動

○平成25年8月29日現在の会員状況(平成25年2月末日からの増減)

名誉会員	10名	()
A会員	145名	(+6 -14)
B会員	196名	(+13 -23)
A学生会員	10名	(+1 -4)
<u>B学生会員</u>	<u>50名</u>	<u>(+19 -22)</u>
合計	411名	(+39 -63)
A賛助会員	24社	(-2)
<u>B賛助会員</u>	<u>11社</u>	<u>(-1)</u>
賛助会員合計	35社	(-3)
総計	446	(+39 -66)

(10) 編集関係

○The Journal of Poultry Science 誌第50巻2号~第50巻3号、日本家禽学会誌50巻J1号、ニュースレター12号、講演要旨2冊(春季大会号・秋季大会号)を発行した。

○Journal of Poultry Scienceの2012年インパクトファクターが公開された(IF=0.684)

(11) 会計関係

○平成24年度~平成27年度までの科研費補助金(研究成果公開促進費)「学術刊行物」の交付が内定しており、平成25年度の交付が決定した。

(12) その他

○WPSJの配付方法が変更になる。印刷した冊子体の郵送を希望する場合は連絡する必要がある。

http://www.wpsa.com/journal/online_members.html

§ 日本家禽学会優秀発表賞の決定について

審査員の評価に基づいて常務理事会で審議した結果、2013年度秋季大会では、第1会場:新居 隆浩会員(広大院生物圏)「ニワトリ卵管の伝染性気管支炎(IB)ウイルス抗原刺激に対する細胞性免疫関連遺伝子の発現変化」および柴田 光浩会員(岐阜大)「ニワトリ胚の発生過程における甲状腺ホルモンの脱ヨード酵素の働き」、第2会場:川嶋 祐貴会員(JX日鉱日石エネルギー(株))「*Paracoccus*菌を用いたゼアキサンチン高濃度鶏卵の開発」にそれぞれ授与することが決定され、総会終了後に授与式が執り行われた。

§ 日本家禽学会名誉会員の決定について

理事会・評議員会・総会の審議・承認を経て、唐澤 豊会員を名誉会員として推戴することが決定された。

§ 2014年度日本家禽学会賞および同奨励賞候補者の募集について

2014年度両賞の受賞候補者推薦を募集します。締め切りは平成25年12月31日(火)で、期日までに選考規程を参照して候補者の推薦をお願いします。なお、奨励賞については2014年4月1日現在において、満40歳以下の方が対象となります。

§ 第10回アジア太平洋家禽会議(2014年10月、韓国)に参加する若手会員への旅費支援について

同会議へ参加する若手会員の旅費の一部を学会として支援することになりました。募集要項は学会ホームページに掲載されています。

応募の締切は2014年4月11日(金)です。

§ 家禽学用語集の編集について

現在、家禽学用語集の初版をHPに掲載しております。会員の皆様からご意見を頂きながら改定していく予定です。ご意見等がありましたら用語集編集委員会(日本家禽学会事務局 jpsa-s@naro.affrc.go.jp)までお寄せください。よろしくお願いいたします。